

各地区の皆さんの声をお聞かせください

「悠久のふるさと飯山市懇談会」開催

市民の皆さんと協働し飯山らしいまちづくりを進めるため、今年も各地区で「悠久のふるさと飯山市懇談会」を開催します。

懇談会では、市長をはじめ理事者などからの今年度事業等の説明や、地区の皆さんの声を直接お聞きする意見交換を予定しています。

お寄せいただいたご意見を参考にこれからの飯山市づくりを進めていきたいと考えていますので、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。



「悠久のふるさと 飯山市懇談会」日程

- 第1部 今年度の市の取り組みについて など
- 第2部 市長との意見交換

日時	地区	会場
6月26日(金)	午後7時～	外様 外様地区活性化センター
6月30日(火)	午後7時～	柳原 柳原地区活性化センター
7月3日(金)	午後2時～	富倉 富倉地区活性化センター
7月3日(金)	午後7時～	木島 木島地区活性化センター
7月6日(月)	午後7時～	常盤 常盤地区活性化センター
7月8日(水)	午後7時～	太田 太田地区活性化センター
7月10日(金)	午後7時～	瑞穂 瑞穂地区活性化センター
7月15日(水)	午後7時～	岡山 温井多目的交流センター
7月31日(金)	午後7時～	秋津 秋津地区活性化センター
8月3日(月)	午後7時～	飯山 飯山地区活性化センター

申請がお済みでない方はお早めに

定額給付金の手続きはお済みですか

定額給付金の手続きはお済みですか。

給付金の受給には申請が必要です。市では、4月上旬に定額給付金の申請書類を各世帯主の方にお送りしましたが、申請がお済みでない方は期限までに返信用封筒に必要書類を入れて郵送していただくか、市役所ま

たは各地区活性化センターへお越しいただき、早めの申請手続きをお願いします。

なお、定額給付金の申請書類をなくしてしまった方、申請方法がわからない方等については、お手数ですが市役所定額給付金担当までお問い合わせください。また、定額給付金の給付

を装った郵便・電話など、振り込め詐欺や、個人情報報の聞き出しなどには十分ご注意ください。

申請受付場所

- （郵送によらない場合）
- ◇市役所企画財政課窓口（3階32番カウンター）
- ◇各地区活性化センター
- ◇お問い合わせ
- 市役所定額給付金担当
- （企画財政課 企画調整係）
- ☎62-3111 内線392

市民プール オープンのお知らせ

市民プールが7月18日にオープンします。皆様のお越しをお待ちしています。

●営業期間 7月18日(土)～8月23日(日)

- ・7月18日(土)は午後1時オープンです
- ・8月23日(日)は飯山市ジュニア水泳大会が開催されます
- ・7月18日および8月23日は入場無料です

●営業時間 午前9時30分～午後5時
●入場料 大人250円、中学生以下150円(2歳未満無料)
※小学校3年生以下の方の入場は、20歳以上の付添人が必要

市民プール監視アルバイト募集中

市民プールの監視アルバイトを募集しています。勤務条件等、詳しくはスポーツ生涯学習課までお問い合わせください。

お問い合わせ
スポーツ生涯学習課 スポーツ振興係 ☎62-3111 内線353



市立保育園 臨時保育士を募集します

市教育委員会では、今年度、市立保育園で働いていただく臨時保育士を募集しています。

- 応募資格 60歳未満で保育士資格のある方
- 申込手続 市販の履歴書に必要事項を記入のうえ、教育委員会事務局子ども課までお申し込みください。

お問い合わせ 子ども課子育て支援係 ☎62-3111 内線363



飯山市千曲川・樽川洪水避難地図 (洪水ハザードマップ) 最新版を配布します

市ではこのほど、「千曲川・樽川洪水避難地図(洪水ハザードマップ)」を更新し、全戸配布しました。お宅の見やすい場所に掲示していただき、大雨で市から「避難勧告」「避難指示」が出されたときなど、いざという時の避難場所・避難経路・連絡先などを家族で確認していただくようお願いします。

●洪水ハザードマップとは
この地図は千曲川および樽川が大雨によって増水し市内で堤防が決壊した場合の浸水が予想される範囲とその程度、各地区の避難場所を示した地図です。

●想定する大雨の規模
2日間の総雨量が186mmを想定(昭和58年の台風10号洪水の1.04倍)
※地図に示した区域以外の所も、状況によっては浸水することもありますので、ご注意ください。



お問い合わせ
道路河川課 監理係
☎62-3111 内線271

市長の

悠久のふるさとづくり ⑩

飯山市長 石田正人



四方の山々が新緑に包まれ、まさにこれが『ふるさと飯山』の原風景と言わんばかりに輝いています。毎日この情景の中に暮らしていると、その美しさを感じなくなってしまうがちです。これは世の常とも言われていますが、立ち止まって振り返り、また前へ歩を進めることの大切さを考える時でもあると思います。

田植え時には近所の共同作業で行い、病人や不幸があれば助け合い近隣愛を育み生活してきました。田植えの時は疲れた身体を癒すため、飯山独特の郷土料理が生み出され伝えられてきました。握りむすびに大豆のきな粉をかけ、ニシンの入った干し大根の煮物、大豆の粉で作ったムシナ豆腐などは、栄養価値も高い最高の「ゴベリ」でありました。田植えが終わると『馬鋤洗(まんがあらひ)』を一家で祝う。こうした自給自足の安心安全な食事が健全な身体を作り、農村を支える力となりました。

鎌で草を刈り、田畑を鋤で耕し、一本一本苗を植え、腰を曲げて草を取り、秋の収穫も全て人の手で行ってきた時代は過ぎ去り、機械農業に変わりました。百姓も楽になったもんだという声もありますが、この中で色々な事が失われているのではないのでしょうか。

高齢化が進む飯山。先月、富倉地区の区長会長さんが「富倉は交通の便が悪い、お店もない、医者もないが地区内の4つの集落で寝たきりの人は一人もいない。昔から伝わる食文化や生活を大切に、自分の健康は自分で守っている」とおっしゃっていました。

今、改めて飯山の自然の食文化、支え合いの心を見直し、先人の思いを伝えて輝き続ける『ふるさと飯山』を、力を合わせて発展させていきましょう。